

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在地	東京都台東区台東4-16-8
施設名	ミアヘルサ保育園 ゆらりん新御徒町

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然の色の不思議さを感じる

<テーマの設定理由>

春の戸外活動を行うと植物への興味が高く、花や実を集めその色や形などの違いを面白がっていた。つつじが咲くころに鮮やかな色を楽しむ様子から色水にならないかと担任が問いかけ実験してみたが上手く色が出ず他の花でも試したいという思いを感じ自然への関心がより高まるようにと設定した。

2. 活動スケジュール

- 1, 図鑑を用意し色が出やすそうな花がないか調べる。
- 2, その花の種を買い、種を植える。
- 3, 当番活動にて水やりを行い
- 4, 育てた花を摘み、保管しておく。
- 5, 花が集まったら色水の実験を行う。
- 6, 出来た色水で紙を染めてみる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

図鑑（植物）を絵本コーナーに置く。
朝顔のたね、プランター、スコップ。朝顔の苗、じょうろ、当番表。
ビニール袋、キッチンペーパー。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

春に図鑑を持ってきて興味が持てるようにした。何の花なら色がでそうかどんな色ができそうか話をし「朝顔」が色々な色もあり良さそうであると子どもたちと決め自分たちで植えて育ててみることにした。種を買ってきてプランターに一人ずつ種をまき、水やりは当番制で午後の活動で2人ずつ水やりを行う。花が咲いてきたら当番が花をつみ冷凍庫に保管した。花の数が十分になったところで一人ずつ花と水をビニール袋に入れ潰し色水にした。またキッチンペーパーに色を吸わせて色の移りを楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・ 図鑑を置いたがよくみており、他の花の名前を知りたいが保育者に質問したり「この色がいい」や「こっちが綺麗だね」と子どもたち同士で話しながら図鑑を見る姿もあった。朝顔が色水になりそうだと言うことも図鑑で分かり、これにしてみようと皆はやく色水をやって見たい気持ちを感じられた。水やりの当番制をしたことで「今日は僕の番」と楽しみにしたり水が十分に足りているかきにしたり責任感も生まれていた。花が咲くと今日は「〇〇色が咲いてたよ」と保育者に教えてくれたりクラスの友だちに嬉しそうに伝えていた。花の色の違いやこの色が薄い、濃い、などにも注目していた。色水にすると色がでてくると歓声をあげたりもっと濃くなったと色の変化を楽しんでいた。違う花の色水と合わせ色が変化していく様子も不思議がりまた「綺麗だね。」という声も上がった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・ 植物への関心が高かったが植物を種から育てたこともありより植物への親しみが出てきた。戸外散歩中も「何の実かな」「どんぐりの木はどれかな」など探求心が出てきたり塗り絵も好きなクラスであるが何色と何色を混ぜれば何色になるなど色鉛筆の色を重ねる姿もあり色への関心も高くなっていた。今後も不思議に思ったことを子どもと調べたり実験したりして色々なことに興味が広がるようにしていきたい。